

札幌トレセン大会報告書

2018. 11. 16

札幌4種技術委員会（嶋田 雄二）

<p>1、大会名・日程</p> <p>2018関東遠征U12</p> <p>2018年10月26・27・28日；柏レイソル練習場・しんよこフットボールパーク・よみうりランド</p>
<p>2、参加選手（ ）内は所属チーム</p> <p>神 晴翔・大坂 恵也・三船 煌晴(石狩 FC)鷹島 凌・阿部 翔成(クラブフィールズ)今野 眞翔・上ヶ嶋 柊也・佐野元紀(SSS 札幌)畑 嘉人・中村 友哉(スポルティング)長谷川 幸輝(L-WAVE)斉藤 匡汰(大谷地)小澤 秀太郎・山田 遥斗(AGGRE)根本 青陽・村田 龍之介・山根 且稔・佐々木 太一(コンサドーレ札幌) 計18名</p>
<p>3、引率者名</p> <p>嶋田雄二（SSS札幌）、古賀亮太（クラブフィールズ）、喜多奎介（FC DENOVA）</p>
<p>4、大会結果</p> <p>10月27日（土）vs 柏レイソル 20分×8本</p> <p>A；①0-2②0-0③1-2（山田）④3-3（山根・山田・今野）</p> <p>B；①1-2（小澤）②3-0（根本×2・佐野）③4-0（佐々木・山根・根本×2）</p> <p>④6-0（OG・中村・佐野・神・根本・斉藤）</p> <p>vs 横浜F・マリノス 20分×4本</p> <p>A；①0-1②0-0</p> <p>B；①0-1②1-2（根本）</p> <p>10月28日（日）vs 東京ヴェルディ 20分×4本</p> <p>A；①0-2②1-1（上ヶ嶋）</p> <p>B；①0-0②3-1（中村・神・佐野）</p>
<p>5、成果と課題</p> <p>力のある相手に対して攻守ともに後手を踏むことが多かったが、徐々に粘り強くハードワークすることで拮抗した試合展開に持ち込むことが出来てきた。それでも、個々の選手を見たときには関東の選手に比べて足りない要素が多数あると感じた。</p> <p>・主に関東勢との差を感じた部分・・・</p> <p>1)ボールを受けることが出来る⇒的確なタイミングで動き出し、適切なポジションを取り続けることが出来るため、優位な状況でボールに触れることが出来る。その際、動きながらハイスピードにも関わらず、技術がブレることがない。</p> <p>普段から厳しい環境で試合を行っているため、止まったプレーは簡単に潰されることが分かっているようだ。</p> <p>2)サッカー知能が高い ⇒ボールを動かしながらも、どこに隙が生まれるかを瞬時に把握し、全員で共有しながら的確に急所を突いてくる。また、簡単にマークすることが出来ないように相手の目線から消え続けたり、中間ポジションでボールを受ける選手が多くいたり、相手選手との駆け引きの中でサッカーを行っていた。</p> <p>以上のことから、持っている技術を生かすためにも相手を意識したサッカーに取り組み必要があると感じた。</p>